

# 政策シート (政策名) 地域の文化遺産の保全・活用

(予算費目名) 博物館費

(総合計画体系)

「分野」 文化・生涯学習

30年後の姿 創造都市を実現し、音楽の都として世界から注目されている。

- 10年後の目標
- ・ 音楽などの芸術をきっかけとして新たな文化や産業が創出されている。
  - ・ 多様な歴史・文化による豊かさやスポーツによる喜びを市民が実感している。

## ◆基本政策 感動のある生活、歴史・文化・スポーツによる豊かさの創造

### ◇政策の概要

- ①魅力ある展示会・学習会・講座・体験会などを開催し、博物館で学ぶ機会を拡充します。
- ②歴史資料を適切に保管するために、収蔵資料台帳を整備し、デジタル化するとともに、調査研究に基づいた資料の公開活用を進めます。
- ③市民の博物館活動への参加と、地域、学校、大学等との連携事業を推進します。
- ④国指定史跡蜷塚遺跡を魅力ある遺跡公園にするため保存活用計画を策定し、合わせてその中で博物館の将来像を定めていきます。
- ⑤市民の要望に応え分館の事業の充実を図ります。

### ◇関連するSDGsのゴール

④教育	⑥水・衛生	⑧成長・雇用	⑪都市	⑫生産・消費				
-----	-------	--------	-----	--------	--	--	--	--

### ◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	92,367	80,983				
決算	85,673					
人件費(A)	87,000	86,200				
報酬(B)	190	3,950				
年間経費(予算又は決算+A+B)	172,863	171,133				

### ◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
博物館の年間観覧者数	人	目標	71,000	71,000	71,000	71,000	71,000	71,000
		実績	59,788					
分館における展覧会開催数	回	目標	12	14	14	14	15	15
		実績	14					
		目標						
		実績						

### ◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

- ①魅力ある展示会・学習会・講座・体験会などを開催し、博物館で学ぶ機会を拡充します。
- ②歴史資料を適切に保管するために、収蔵資料台帳を整備し、デジタル化するとともに、調査研究に基づいた資料の公開活用を進めます。
- ③市民の博物館活動への参加と、地域、学校、大学等との連携事業を推進します。
- ④市民や学校の要望に応える新たな博物館構想の策定に着手するとともに、分館の事業の充実を図ります。
- ⑤国指定史跡蜷塚遺跡を魅力ある史跡公園にするため再整備に着手します。

### ◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>	計画通り
<ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館の講座室排煙窓改修工事、蜷塚遺跡復元家屋茅葺改修工事、伊場遺跡公園のベンチ設置工事等を実施し、博物館来館者や公園利用者が安全に博物館や史跡を見学できるよう学習環境の整備を進めました。</li> <li>・伊場遺跡発見70年、博物館開館40年記念の特別展「古代東海道駅伝展」を開催し郷土の歴史資産への関心を高めることができました。また、テーマ展「天竜川平野のパイオニアたち」「商いのしるし」「めでたいかたち」を開催し、浜松地域の歴史文化の普及発展に努めました。</li> <li>・蜷塚・伊場遺跡再生プロジェクトとして再整備の方針を示しました。</li> </ul>	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	博物館運営事業	○	○			63,209	40,723	2.3			1.6	1,906
2	遺跡公園運営事業	○	○			31,342	20,422	1.4			0.4	
3	博物館展示会開催事業	○	○			25,882	10,689	1.8	0.2		0.4	753
4	学習会開催等連携事業	○	○			28,467	4,074	2.3	0.3		2.4	493
5	博物館資料調査収集活用事業					22,233	5,075	1.2	0.5		2.2	798
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						171,133	80,983	9.0	1.0		7.0	3,950

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

## 事業シート (事業名) 博物館運営事業

### ◇事業目的・事業対象

博物館は、浜松地域の歴史と文化を紹介する博物館施設を管理し運営することにより、浜松市民の学習を支援する機能を維持します。これにより、新しい時代に向けた浜松市民の文化創造に寄与します。

### ◇事業の概要

以下の博物館と分館の建物、設備等の維持管理と本館・分館の運営を行います。

- ・博物館施設
- ・市民ミュージアム浜北(指定管理施設)
- ・姫街道と銅鐸の歴史民俗資料館
- ・春野歴史民俗資料館
- ・水窪民俗資料館
- ・舞阪郷土資料館(指定管理施設)
- ・旧カモシカと森の体験館
- ・旧龍山郷土文化保存伝習施設

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S54	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市博物館条例	○		○

### ◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	47,292	40,723				
	決算	44,301					
	国・県支出						
	市債						
	その他	3,600	3,858				
	一般財源	40,701	36,865				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(千円)		190	1,906				
人件費(千円)		21,480	20,580				
人工	正規	2.4	2.3				
	再任用(h31)	0.6					
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.9	1.6				

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.4, 11.7
③ 保健		⑫ 生産・消費	○ 12.4, 12.5, 12.b
④ 教育	○ 4.1, 4.2, 4.5, 4.a	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用	○ 8.9	⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

#### ・事業とゴールの関連性

・歴史学習を支援する機能を維持し、文化創造に寄与する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
施設管理状態に対する満足度 (%)					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	90	90	90	90	90	90	90
実績値	90	90					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

以下の博物館と分館の建物、設備等の維持管理と本館・分館の運営を行いました。

- ・博物館施設
- ・市民ミュージアム浜北
- ・姫街道と銅鐸の歴史民俗資料館
- ・春野歴史民俗資料館
- ・水窪民俗資料館
- ・舞阪郷土資料館(指定管理施設)
- ・旧カモシカと森の体験館
- ・旧龍山郷土文化保存伝習施設

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・博物館では、雨水管等修繕工事、電動ブラインド等修繕工事、講座室排煙窓改修工事等を実施
- ・水窪民俗資料館では、浄化槽排水ポンプ取替工事、バルコニー及び回廊壁、建具塗装工事を実施
- ・姫街道と銅鐸の歴史民俗資料館ではシャッター修繕工事等を実施

これらの業務を執行したことにより、市民の歴史学習を支援する機能を維持でき、施設管理満足度も90%を維持できたものと考えます。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

本年度は、博物館の講座室排煙窓改修工事などにより施設機能が改善し、来館者の安全、収蔵資料の保全が確保されました。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

施設の長寿命化と大規模改修を考えるとともに、来館者の安全と満足度が確保できる維持管理を目指していきます。

## 事業シート (事業名) 遺跡公園運営事業

### ◇事業目的・事業対象

博物館は、蜷塚(遺跡)公園を、隣接する博物館と一体的に管理し、伊場遺跡公園とともに学び憩える歴史公園としての機能を維持するとともに、蜷塚遺跡については、保存活用計画を策定し、公園の再整備に着手します。これにより、貴重な歴史的文化遺産の保護と活用を図ります。

### ◇事業の概要

- ・蜷塚公園及び伊場遺跡公園の、除草・樹枝剪定等の業務委託事務、公園用地の賃貸借契約事務など、維持管理業務を行います。
- ・復元家屋ほかの屋外展示物や園路の補修工事など、遺跡公園の整備を行います。
- ・国指定史跡蜷塚遺跡を魅力ある史跡公園にするため保存活用計画策定に着手します。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S54	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市博物館条例	○		○

### ◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	24,446	20,422				
	決算	23,760					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	23,760	20,422				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		8,440	10,920				
人工	正規	1.0	1.4				
	再任用(h31)	0.4					
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)		0.4				

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.4, 11.7
③ 保健		⑫ 生産・消費	○ 12.4, 12.5, 12.b
④ 教育	○ 4.1, 4.2, 4.5, 4.a	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用	○ 8.9	⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

#### ・事業とゴールの関連性

・歴史公園としての機能を維持し、貴重な歴史的文化遺産の保護と活用を図ります。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
公園整備件数 (件)					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	6	6	6	6	6	6	6
実績値	7	6					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- ・蜷塚公園及び伊場遺跡公園の、除草・樹枝剪定等の業務委託事務、公園用地の賃貸借契約事務など、維持管理業務を行いました。
- ・復元家屋ほかの屋外展示物や園路の補修工事など、遺跡公園の整備を行いました。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

○蜷塚公園・伊場遺跡公園維持管理事業

蜷塚公園・伊場遺跡公園における、樹木等の管理及び伊場遺跡公園巡回清掃を委託として実施しました。

○遺跡公園整備事業

蜷塚公園整備・修繕として復元家屋茅葺改修工事、旧高山家住宅雨戸廻り修理工事を行いました。伊場遺跡公園整備・修繕として、フェンス修繕工事、ベンチの設置工事等を行いました。以上により、蜷塚公園ならびに伊場遺跡公園内にある建物・設備等が修繕され、浜松の歴史文化を学習でき、親しみのある公園を維持できました。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

公園内の復元家屋の茅葺屋根改修や、高木の剪定、チャドクガ被害樹木の伐採等により、公園の外観の修復を図るとともに、利用者が公園を安全かつ快適に使用できるように努めました。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

今後も、貴重な歴史的文化遺産である蜷塚公園及び伊場遺跡公園について、長寿命化に向けて、修繕整備と維持管理に努めていきます。蜷塚遺跡については、保存活用計画を策定し再整備に着手します。また、ボランティアとの協働をはじめ、市民目線に立った公園づくり、魅力アップに努めていきます。



## 事業シート (事業名) 博物館展示会開催事業

### ◇事業目的・事業対象

博物館は、常設展や特別展・テーマ展などの展示会で浜松市民が地域の歴史文化遺産について実際に目に触れる機会を創出します。また、観光や学習等で浜松を訪れる人びとに、地域の個性ある歴史文化を紹介します。

### ◇事業の概要

#### 常設展・テーマ展開催事業

- ・浜松市の歴史文化について通史的に常時紹介する常設展示を行います。
- ・常設展示を補完するため、展示内容を深く掘り下げ、魅力ある歴史文化遺産を紹介するテーマ展示を開催します。

#### 巡回展開催事業

- ・本館のテーマ展を分館等に巡回展示します。
- ・地域の独自文化と広域性を比較する巡回展を開催します。

#### 特別展開催事業

- ・徳川家康公が浜松城を築城してから450年という節目の年を記念して、浜松城絵図や大工の古記録、発掘調査成果などを公開します。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S54	—	一般会計	自治事務(その他)	博物館法	○	—	○

### ◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	11,125	10,689				
	決算	9,662					
	国・県支出						
	市債						
	その他	2,403	2,146				
	一般財源	7,259	8,543				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(千円)			753				
人件費(千円)		15,840	14,440				
人工	正規	2.0	1.8				
	再任用(h31)	0.2	0.2				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.4	0.4				

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.4, 11.7
③ 保健		⑫ 生産・消費	○ 12.4, 12.5, 12.b
④ 教育	○ 4.1, 4.2, 4.5, 4.a	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生	○ 6.6, 6.b	⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

#### ・事業とゴールの関連性

- ・博物館や分館の展示会等を通じて、来館者に学校教育や生涯学習の機会を提供する。
- ・展示会を通じて、文化遺産や自然遺産などの保護保全の啓発活動を高めていく。
- ・常設展示や展示会の開催により、地方文化を創出していく持続可能な観光業を促進する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
特別展及びテーマ展における来館者数 (人)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	43000	43000	43000	43000	43000	43000	43,000
実績値	43442	32540					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
特別展及びテーマ展の平均満足度 (%)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	90	90	90	90	90	90	90
実績値	92.5	90.4					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
市民協働産学連携による展示会の開催 (件)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	3	3	4	4	4	4	5
実績値	5	4					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

常設展・テーマ展開催事業  
 ・浜松市の歴史文化について通史的に常時紹介する常設展示を行いました。  
 ・常設展示を補完するため、展示内容を深く掘り下げ、魅力ある歴史文化遺産を紹介するテーマ展示を開催しました。  
 ・常設展示・テーマ展をさらに補完する小展示を、展示ホールにて開催しました。

巡回展開催事業  
 ・本館のテーマ展を分館等に巡回展示しました。  
 ・地域の独自文化と広域性を比較する巡回展を開催しました。

特別展開催事業  
 ・郷土の歴史文化遺産を全国の関連資料とともに紹介しました。  
 ・浜松が全国に誇る魅力ある歴史文化遺産を、市民の目に触れる機会をつくりました。

・事業の成果と課題

指標の達成度  
 計画通り

・テーマ展を年3回開催し、「天竜川平野のパイオニアたち」では所蔵する出土品を公開しました。「商いのしるし」は市内の商家で用いられた家印に焦点を当てました。「めでたいかたち」は、暮らしの中にある縁起のよいモチーフを、収蔵品により紹介しました。また、小展示を6回開催し、学校教育と連携した「道具たちの百年」「自由研究優秀作品展」等に加え、新聞を利用した教育活動(NIE)に協力して「壁新聞作品展」「新聞切り抜き作品展」を初めて当館で開催しました。

・巡回展として本館開催のテーマ展示の縮小版や新元号制定記念「新元号と万葉集」などの展覧会を分館で実施し、博物館本館から遠方にお住まいの方に、身近な分館で観覧していただく機会を提供しました。

・特別展は博物館開館40周年と伊場遺跡発見70年を記念して「古代東海道駅伝展」を開催し、全国各地から借用した貴重な文化財とともに所蔵品を展示して、広い視野から郷土の歴史文化遺産の魅力を紹介しました。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

新元号制定に合わせた「新元号と万葉集」など、市民の関心が高いテーマの小展示をタイムリーに開催しました。市内外の文化施設・学校教育機関等との相互協力により、地域の歴史遺産の掘り起こしや、個性ある地域文化の発信の場を提供できました。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

博物館本館はもとより、分館において収蔵されている資料を活用した、新しい展示企画を進めていきます。また、博物館は諸機関、団体等と連携した調査・研究に基づく展覧会を企画・開催していきます。

## 事業シート (事業名) 学習会開催等連携事業

### ◇事業目的・事業対象

博物館は、地域の歴史文化遺産を広く紹介し、市民の学習、研究の機会を広めるため、講座・講演会・学習会等を開催して、市民協働参画のもと世代を越えた文化の継承を目指します。また、未来を引き継ぐ子供には、土日や長期の休日に子供向けの講座・体験学習などの学習機会を提供します。

### ◇事業の概要

#### 講座・体験館等開催事業

- ・地域の歴史文化に関する講座、講演会を開催します。
- ・児童生徒を対象にした体験事業、季節や年中行事に関連する体験事業を、ボランティア活動や市民協働により開催します。

- ・ボランティア養成のための講座を充実します。
- ・ボランティアと協働で事業を展開していきます。

#### おでかけミュージアム開催事業

- ・学校移動博物館の開催と学校への教材貸出を行います。
- ・市内の民間施設での展示会(逸品まちかど陳列事業)や出前講座を、積極的に行います。
- ・地域の歴史文化遺産を守り育てる市民団体を支援し、博物館の事業への参画を呼びかけます。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S54	—	一般会計	自治事務(その他)	博物館法	○	—	○

### ◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	4,659	4,074				
	決算	3,971					
	国・県支出						
	市債						
	その他	1,355	1,800				
	一般財源	2,616	2,274				
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(千円)			493				
人件費(千円)		24,180	23,900				
人工	正規	2.3	2.3				
	再任用(h31)	0.3	0.3				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	2.5	2.4				

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.4, 11.7
③ 保健		⑫ 生産・消費	○ 12.4, 12.5, 12.b
④ 教育	○ 4.1, 4.2, 4.5, 4.a	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生	○ 6.6, 6.b	⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用	○ 8.9	⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

#### ・事業とゴールの関連性

・講座の開催や体験活動の学習環境の提供により、来館者に学校教育や生涯学習の機会を提供し、持続可能な観光業の促進を図る。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
新たな体験メニューの開発 (件)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	3	3	3	3	3	4	5
実績値	5	3					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
博物館ボランティアの年間参加者数 (人)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	1000	1000	1000	1000	1000	1200	1,300
実績値	609	633					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
学校への教材利用件数 (点)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	1600	1600	1600	1600	1600	1700	1,900
実績値	1135	1155					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

講座・体験館等開催事業

- ・地域の歴史文化に関する講座、講演会を開催しました。
- ・児童生徒を対象にした体験事業、季節や年中行事に関連する体験事業を、ボランティアの協力により開催しました。
- ・ボランティア養成のための講座を開催しました。

おでかけミュージアム開催事業

- ・学校移動博物館の開催と学校への教材貸出を行いました。
- ・市内の民間施設での展示会(逸品まちかど陳列事業)や出前講座を、積極的に行いました。
- ・地域の歴史文化遺産を守り育てる市民団体を支援し、博物館の事業への参画を呼びかけました。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・主に親子を対象とした体験事業を開催し、学習機会を提供しました。ものづくり体験内容を見直して一部を新しくし、ボランティア団体とも協力して行いました。大人向けの「門松作り講座」を実施し、生涯学習講座を充実させました。
- ・学校移動博物館では市内10小学校を訪問して、資料の展示と体験講座を実施しました。教員向けの博物館利用講座を開催して、授業や校外学習での博物館利用の促進を図りました。
- ・令和元年度から博物館ボランティアに関する要綱を定めて、ボランティア講座を開催し、一定の要件を満たした者を市民学芸員に認定して、ボランティア養成の充実を図りました。
- ・「博物館の逸品まちかど陳列事業」は引佐・三ヶ日協働センターで当該地域の歴史・民俗資料を展示しました。
- ・出前講座を7件開催し、学芸員が自治会、老人会、郷土史研究団体等に出向いて話をしました。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

通常の展示会ではできない体験型や伝統文化を受け継ぐ催しを開催して、市民の歴史文化への興味付けや、博物館観覧者と事業参加者のリピーターの増加を図りました。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

市内各地域との連携を深めて博物館のアウトリーチ事業を積極的に行います。新しい団体や機関との協働や連携を視野に入れて、様々な事業を展開します。また、事業の拡大に伴い、ボランティアの養成を充実し活動の場を広げていきます。

また、令和2年度からの新学習指導要領完全実施に伴い、新たな教育目標・内容に沿った解説・展示・貸出資料を開発します。

## 補助シート (事業名) 学習会開催等連携事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
〇〇				
〇〇				

## 事業シート (事業名) 博物館資料調査収集活用事業

### ◇事業目的・事業対象

浜松の歴史文化遺産を広く調査収集し保存することが目的です。そしてこれらの歴史文化遺産により、過去の浜松の人々の営みを市民に紹介するとともに、現在の生活文化を将来の浜松市民に伝えてゆくことも博物館の使命です。

### ◇事業の概要

#### 1. 資料の調査収集事業

- 考古、歴史、民俗、文献等、価値ある歴史文化資料を調査、購入、寄贈等により受け入れ、整理し保管します。
- 新たな資料の情報に対応し、調査とデータ収集を行います。
- 収集資料と保管施設は、日常的に防虫防カビ、温湿度管理を行い、また定期的に燻蒸処理をして適切な保存環境を維持します。また傷んだ資料は補修をし、特に貴重な資料はレプリカを制作するなどして、展示活用を図ります。

#### 2. 電子データ作成公開事業

- 18万点に及ぶ博物館収蔵資料を、将来にわたって保存するとともに有効に活用し、市民の財産として広く公開します。
- 収蔵資料台帳を整備し、デジタル化を図り、画像データとともに博物館ホームページで公開します。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S54	—	一般会計	自治事務(その他)	博物館法	—	—	—

### ◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	4,845	5,075				
	決算	3,979					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	3,979	5,075				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(千円)			798				
人件費(千円)		17,060	16,360				
人工	正規	1.3	1.2				
	再任用(h31)	0.5	0.5				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	2.2	2.2				

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.4, 11.7
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.1, 4.2, 4.5, 4.a	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

#### ・事業とゴールの関連性

・地域の歴史文化遺産を調査・保存することにより、文化遺産・自然遺産の保護保全を行う。



◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
新着資料の公開件数 (件)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	10	10	10	10	10	10	10
実績値	7	3					
-----							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
収蔵資料台帳の整備件数 (件)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	100000	100000	100000	100000	100000	100000	100,000
実績値	80440	81560					
-----							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
収蔵資料台帳の公開件数 (件)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	10000	12000	12000	12000	12000	15000	20,000
実績値	11721	11821					
-----							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
-----							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
-----							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
-----							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- 資料の調査収集事業
  - 考古、歴史、民俗、文献等、価値ある歴史文化資料を調査、購入、寄贈等により受け入れ、整理し保管しました。
  - 新たな資料の情報に対応し、調査及びデータ収集を行いました。
  - 文化財IPM(総合的有害生物管理)を推進し、害虫やカビの侵入に対する職員の意識を高めるとともに、日常的に防虫防カビ、温湿度管理を行い、また定期的に燻蒸処理をして適切な保存環境を維持しました。
- 電子データ作成公開事業
  - 18万点に及ぶ博物館収蔵資料を、将来にわたって保存するとともに有効に活用し、市民の財産として公開しました。
  - 収蔵資料台帳を整備し、デジタル化を図り、画像データとともに博物館ホームページで公開しました。
  - 蜷塚遺跡、伊場遺跡ほかの発掘調査を記録したフィルムをデジタル化し、保存と活用を図りました。

・事業の成果と課題

指標の達成度  
 計画通り

・新着資料のうち浜松の歴史を展示するために必要な資料3件7点を、特別展、テーマ展で公開活用しました。資料収集については、寄贈または購入により随時行っており、収集の目標は達成できました。

・IPMコーディネーター有資格者により、展示・収蔵空間の温湿度管理と有害生物防除に努めました。

・収蔵資料台帳の整備とデジタル公開については、本館・分館の収蔵資料の全てを整備するまで事業を継続する必要があります。

・蜷塚遺跡と伊場遺跡の発掘調査の、ポジフィルム923枚をデジタルデータ化し、活用に向けて整備を進めました。フィルムを適切に保管するための空気環境調査を実施し、保存のための環境整備に努めました。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

旧竜川中学校に保管されている民俗・歴史資料の台帳整備を進めたことで、旧天竜市所蔵資料のデジタル化を図り、資料の詳細な情報を把握することができました。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

本館と分館の収蔵資料を確実に後世に伝えるとともに、有効に活用するため、収蔵庫の確保、資料の分類・収納とデータベース化を進めていきます。収蔵資料のデータベース化とデジタル公開及び、質の高い画像及び歴史的価値付けの充実を図っていきます。また、文化財IPMの知識・技能の普及に努め、展示・収蔵環境の保全に取り組んでいきます。